

廃棄物の追跡、廃棄業務の把握でゼロエミ推進
ICタグ活用の廃棄物管理システム

日本総合研究所（東京都千代田区）は、ICタグ（電子荷札）を使った次世代型廃棄物管理システムを開発した。廃棄物の追跡とともに事業所ごとの発生量を部署単位で把握でき、廃棄物の削減や業務改善につなげられる。環境重視の経営が求められる中、企業のゼロエミッション活動を支援するシステムとして提案していく。



このほど、上尾中央総合病院（埼玉県上尾市）に導入、本格稼働した。廃棄物の容器にICタグを添付し、廃棄物の種類や重量、容器の種類といった情報を収集、廃棄物の適正な運搬・処理が確認できる。廃棄物の適正処理はコスト削減にもつながり、日本総研の試算では、大規模医療機関では1床あたり年1万円の削減が可能という。

日本総合研究所

☎ 03-3288-4649